

造本装幀コンクール事務局 行

FAX. **03-5211-7285**

第49回 造本装幀コンクール 出品申込書

応募締切：2015年3月31日（火）

申込日：2015年 月 日

会 社 名			
住 所	〒		
出 品 責 任 者	部 課 様		
TEL		FAX	
E-mail			

※記載事項は、略さず正式名称をご記入ください。

下記のとおり**合計** 点、出品します。

部 門 別		出 品 点 数
1.	文学・文芸（エッセイ）	点
2.	芸術書	点
3.	児童書・絵本	点
4.	専門書（人文社会科学書・自然科学書等）	点
5.	語学・学参・辞事典・全集・社史・年史・自分史	点
6.	生活実用書・文庫・新書・双書・コミック・その他	点

※ 申込書受領後、事務局より出品方法に関する案内と請求書を送付いたします。

【お問合せ先】出版文化産業振興財団（JPIC）内 造本装幀コンクール事務局
TEL.03-5211-7282 FAX.03-5211-7285 E-mail:info@jpico.or.jp

第49回
造本装幀
コンクール
The 49th Japan Book Design Concours/ Exhibition 2015

第49回 造本装幀コンクール
作品募集のご案内

第49回

造本装幀 コンクール

作品募集のご案内

応募締切
2015年3月31日（火）

- ◆公開展示 2015年7月1日（水）～4日（土）
- ◆会 場 東京国際ブックフェア2015
（東京ビッグサイト・有明）
- ◆主 催 （一社）日本書籍出版協会
（一社）日本印刷産業連合会

出品作品は、すべて東京国際ブックフェアで展示されます。
入賞作品は、ライブツィヒで開催される「世界で最も美しい本
コンクール」に出品され、その後世界最大の国際図書展で
あるフランクフルト・ブックフェアで展示されます。

造本装幀コンクールは、造本装幀にたずさわる人々（出版、印刷、製本、装幀、デザイン）の成果を総合的に評価する出版業界で唯一の賞です。同コンクールは、「美しい本」づくりをめざす意欲を高め、広く内外にわが国の造本装幀技術の素晴らしさを紹介し、また、読書推進をはかり、ひいては出版文化産業の発展を促すことをめざします。

選考条件

- 出版社、装幀家、デザイナー、印刷会社、製本会社の協力の下で制作された、造本技術・装幀デザインが優秀な本で、特に次の条件を備えているものとします。
- 造本目的と実用性との調和がとれており、美しく、かつ本としての機能を発揮しているもの。
 - 編集技術ならびに表紙、カバー、本文デザインが創造性に富み、将来に示唆を与えると認められるもの。
 - 印刷・製本技術が特に優れているもの。
 - 材料の選択が特に優れているもの。



前回入賞作品

各賞

- 文部科学大臣賞……………1点
- 経済産業大臣賞……………1点
- 東京都知事賞……………1点
- 審査員奨励賞……………3点以内
- 日本書籍出版協会理事長賞……………6点
- 日本印刷産業連合会会長賞……………6点
- 日本図書館協会賞 読書推進運動協議会賞
- 出版文化国際交流会賞 出版文化産業振興財団賞…各1点



東京国際ブックフェア 公開展示



第48回表彰式

作品募集要項

出品料：1点当り5,400円(税込)
出品作品：2014(平成26)年1月1日から12月31日までに発行された書籍
募集期間：2015(平成27)年1月30日(金)～3月31日(火)

出品部門：6部門

1. 文学・文芸(エッセイ)
2. 芸術書
3. 児童書・絵本
4. 専門書(人文社会科学書・自然科学書等)
5. 語学・学参・辞事典・全集・社史・年史・自分史
6. 生活実用書・文庫・新書・双書・コミック・その他

※外国語版は内容により各部門へ出品

出品資格：出品書籍の制作に関わった者

審査会：2015年5月中旬

発表予定：2015年6月 日本書籍出版協会および日本印刷産業連合会HP上

申込先：〒101-0051

(お問合せ先)

東京都千代田区神田神保町3-12-3
神保町スリービル8F

出版文化産業振興財団(JPIC)内
造本装幀コンクール事務局
TEL.03(5211)7282 FAX.03(5211)7285
E-mail: info@jpica.or.jp

搬入先：〒162-0828 東京都新宿区袋町6番地

日本出版会館2F
日本書籍出版協会
TEL.03(3268)1303 FAX.03(3268)1196

主催・後援など

主催：(一社)日本書籍出版協会 (一社)日本印刷産業連合会
後援：文部科学省 経済産業省 東京都
(予定) (公社)日本図書館協会 (公社)読書推進運動協議会
(一社)出版文化国際交流会
(一財)出版文化産業振興財団(JPIC)

出品方法

1. 裏面「出品申込書」に必要事項を記入の上、JPIC内 造本装幀コンクール事務局宛にお送りください。
2. 出品申込書到着次第、事務局より出品方法のご案内、出品内容票および請求書をお送りいたします。
3. 出品料をお振込みいただくと同時に、出品する書籍を日本書籍出版協会にお届けください(郵便、運送業者等をご利用の場合は、送料をご負担願います)。
4. 「出品内容票」は、必要事項を記入して出品書籍とともに日本書籍出版協会にご提出ください。1点につき出品内容票は正副2通必要です。



第48回審査会の様子

出品規定

1. 2014年1月1日から12月31日までに初版発行された書籍(奥付記載日)が対象。改訂版・新装版は対象としますが、復刊・復刻本、過去に入賞したものは対象外です。
2. 出品は、1冊を1点と規定し、上下巻、全集、撰集等、複数冊で一つの作品(シリーズ等も含め)となる場合も1冊につき1点とみなします。但し、文庫・新書等の軽装本の同一シリーズは「3冊以上10冊まで」を原則として、応募作品1点と算定。
3. 出品書籍は全点、審査会において厳正公平な選考を行い、入賞作品を決定します。選考結果は出品者への通知とともに、主催者発行の公式冊子および一般紙誌、業界専門紙誌にて発表します。
4. 出品書籍は、入賞作品と合わせて全点、東京国際ブックフェア2015会場内で公開展示します。
5. 入賞作品は造本装幀コンクール展で展示後、ライブツィヒの「世界で最も美しい本コンクール」に日本を代表して出品され、さらにフランクフルト・ブックフェアで展示されます。これに要する費用は主催者が負担します。
6. 出品書籍は原則として返却できません。日本書籍出版協会、日本印刷産業連合会に寄贈いただいたものとし、造本装幀コンクール展で公開展示後、国立国会図書館の「原装保存コレクション」¹として保存されます。
7. 特別の事情により出品書籍について返却が必要な場合は、出品の際に出品内容票の「要返却」欄へ記載してください(返却に必要な運賃等経費をご負担いただきます)。万一、返却の必要な本が盗難等により紛失した場合、定価の範囲内において別途協議いたします。展示等における汚損、破損はご容赦ください。

※翻訳作品については、日本オリジナル装幀に限り、審査の対象とします。

¹「原装保存コレクション」とは、出版文化史上保存すべき図書、及び造本・装幀上、将来に伝えるべき図書等を函・カバー等の外装を含めて収集し、原装のまま、国立国会図書館において保存し、各種展示会などに貸し出すものです。

審査員

- ◆学識経験者 柏木 博(武蔵野美術大学教授)
浜田桂子(絵本作家)
- ◆装幀家・デザイナー ミルキィ・イソベ、緒方修一
- ◆読者代表 中江有里(女優・脚本家)
- ◆主催・後援団体
(一社)日本書籍出版協会 (一社)日本印刷産業連合会
(公社)日本図書館協会 (公社)読書推進運動協議会
(一社)出版文化国際交流会 (一財)出版文化産業振興財団
- ◆後援官公庁(予定) 文部科学省 経済産業省 東京都

審査は、審査員全員による予備選考後、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞、東京都知事賞の三賞および審査員奨励賞は、学識経験者、装幀家・デザイナー、読者代表による選考を行い、その他の賞は各団体による選考を行います。

審査員のこぼれ

浜田 桂子 (絵本作家)

電子書籍は、それまで気づかなかった紙本の特性を新たに感じさせてくれる。人は本を読むことで揺らめき生じる自らの感覚を、無意識のうちに、めくる本のページに納めていくのではないだろうか。以前読んだ本に、胸が痛くなるような懐かしさが立ちあがることがあるのは、きっとそのせいだ。紙の本は人と時間を共有し、感覚を交感し、それらの刻印として劣化していく。五感を刺激する、美しく愛おしい本に出会いたい。

ミルキィ・イソベ (装幀家)

本を読むとは、感じ考えることだ。身体のあらゆる部分は感じとり読みとる力を持っている。視覚の優位性から脱け出し、指先だけでなく皮膚や、リンパや血流や、さらに呼吸や内臓などの知を意識したい。そこは「こころ」が遍在する場所なのだから。身体を刺激するような本であれば、これまでにない気づきを引き起こすかもしれない。表現の自在さは心の自在さであり、たとえば他者(もちろん人だけでなく)を思いやるというような、自分自身の外側への想像力なしには生れてこない。

緒方 修一 (装幀家)

造本装幀の〈売れ行き〉上の役割りは増している。今では書籍の中身(作品)に付加するものとしての、旧来のパッケージ的な装幀の価値は乏しく、これからはその成果そのものに商品としての価値が求められていくだろう。そういう意味で黒子であったデザイナーや職人たちにとって、堂々と自分の作品制作を行う舞台は整いつつあり、それが出版への刺激となるだろう。舞台裏から脱却する時代が今訪れている。

中江 有里 (読者代表)

本には力があると思います。その力は中身だけでなく外見にもあらわれる。読者と本の出会いは、外見からはじまります。本を手に取り、開いてながめて、気づけば手放せない特別な一冊になっていく。そんな本の力を感じたいです。